

可決した意見書

議会は、地方自治法第99条の規定に基づき、地方公共団体の公益に関することについて、意見書を国会または関係府行政に提出することができます。今定例会では次の意見書を可決し、鎌倉市議会に送付しました。

協同労働の協同組合法の速やかな制定を求めることに関する意見書

今、地域のさまざまな課題を解決するため、行政だけでなく、住民自身の力に大きな期待がかけられています。そのような中で、地域に密着した公益性の高い活動が、NPO（特定非営利活動法人）、協同組合、ボランティア団体などによって事業展開されています。この一つである協同労働の協同組合は、協同組合に参加する人すべてが、協同で出資し協同で経営し協同で働く形をとっており、働くことを通じて人と人のつながりを取り戻し、コミュニティの再生を目指す活動を続けています。全国には協同労働の協同組合の理念で活動している人は、わかつていくだけで約3万人おり、事業規模は年300億円程度に上るとされています。事業内容は、介護、福祉サービスや子育て支援、ケアワーカーの総合管理など幅広く、企業で正規に雇用されない若者や退職した高齢者が集まり、働きやすい職場を自分たちでつくり、フリーターやワーキングプアの受け皿としても期待されています。

しかし、現在この協同労働の協同組合には法的な根拠がないため、社会的理解が不十分であり、団体として人々、契約ができない、社会保険の負担が働く個人にかかるという問題があります。既に欧米では、労働者協同組合は、労働者自身が、労働者として働き、労働者として働く、仕事を通して安心と豊かさを実感できるコミュニティをつくる、人とのつながりや社会とのつながりを感じ、こうした働き方を旨とする協同労働の協同組合は、市民事業による市民主体のまちづくりを創造する中であり、働くこと・生きること・困難を抱える人々自身が、社会的連帯の中で仕事を興し、社会に参加する道を開くものです。よって、鎌倉市議会は、政府及び関係府行政官庁に協同労働の協同組合法の速やかな制定を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年9月25日

鎌倉市議会

神奈川県バイオテクノロジー環境安全管理指針を見直し、条例に変更することを求めることに関する意見書

神奈川県には神奈川県バイオテクノロジー環境安全管理指針がある。しかし、この指針には生物材料による環境への影響を未然に防止するため、国等が定めるもののほか、自主的な管理について必要な事項を示し、良好な地域環境の確保を図る。」と記載されていない。現在、鎌倉市には、この指針に基づく届け出がなされている施設が、4カ所確認（P1・P2レベル）されているが、県内には同等レベルまたはそれ以上の施設も多く存在する。しかし、施設の情報は所在地の鎌倉市には伝わっていない。県は施設数さえ把握しておらず、管轄への環境安全三浦県政総合センターに問い合わせるため、情報入手に数か月かかるという状況である。施設が所在する市はもちろ、施設の敷地がまたがる市、環境への影響が考えられる近隣市への報告が必要である。現在、藤沢市と鎌倉市にまたがる地に武田薬品工業（株）新研究所の建設が予定されている。この施設内にはP3レベルの実験室の設置が計画されている。神奈川県バイオテクノロジー環境安全管理指針には、病原体を扱う時の遵守・配慮事項等の記載はなく、緩やかなものとなっている。このため、多くの住民が不安を感じ、環境安全協議会を開催し、事業計画の立案段階での環境安全・生物多様性基本法との関係、住民関与手続のあり方等議論が開始された。一方、県の環境影響評価審査会では、専門家が、法で定められた事項にとどまらず、考え得るバイオペザード防止策を実施するべき、また、武田薬品工業（株）は、市民とのリスクコミュニケーションを行うよう県が指導することと述べている。現在の指針だけでは、P3レベルの実験が行われる場合、市民の安心・安全の法的根拠を伴わないため、違反者に対する強制力がなく、近隣市への影響を減らすべく、条例化することにより、法的拘束力を高めることが必要である。

よって、鎌倉市議会は、市民の安心・安全と生命を守るため、神奈川県に対し、神奈川県バイオテクノロジー環境安全管理指針を見直し、条例化することを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年9月25日

鎌倉市議会

米原子力空母の横須賀基地配備について市民の安全、安心を求めることに関する意見書

米原子力空母ジョージ・ワシントンが9月25日に横須賀に配備されます。これは、米原子力空母配備の歴史の中で、初めて海外に母港を持つという状態が強化、恒久化されるものです。ジョージ・ワシントンは小規模の原子力発電所に匹敵する動く原子力発電所とも言われ、加圧水型原子炉2基を装備し約5,600人が乗り込む世界最大級の空母です。現在まで安全性の確保については日本が独自に調査することができず市民の中に不安が広がっています。軍事機密があるとはいへ、国民の不安払拭のため日本国内並みのきちんとした情報が公開されるべきです。特に地震災害などによる事故が起きた場合の原子力事故に対する不安の大きさは世界唯一の被爆国である日本にとって大きな問題とします。米海軍は、この不安を軽減するために、市民の不安を軽減するために、網羅的調査を行うものとの依頼として記事は繰り返されています。以上のことから、日本国政府として米国政府に対して情報公開を含む日米地位協定の改定に向けた交渉を早期に行うとともに、次のような安全、安心の措置を直ちに与えられるよう要請します。

- 1 原子力空母ジョージ・ワシントンの安全性の確保
- 2 原子力事故を想定した市民の安全確保の訓練
- 3 事故発生時における迅速な情報公開及び事後における報告の徹底
- 4 日米地位協定の早期改定

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年9月25日

鎌倉市議会

介護労働者の待遇改善を求めることに関する意見書

介護労働者は、人間の尊厳にかかわる崇高な仕事をしているにもかかわらず、低賃金、長時間重労働など、その劣悪な労働環境から離職率も高く、待遇改善が待たなしの課題となっています。早朝から深夜までの重労働の上、人手不足で疲れても休暇もとれない。こうした厳しい現実と直面して、このままでは生活できない、将来に希望が持てないと、耐え切れず退職していくケースが多発しております。

今後、団塊世代の高齢化などにより、少なくとも今後10年間で、40万人から60万人もの介護職員の確保が必要とされていますが、介護に携わる人たちがいなくなれば介護保険制度も立ち行かなくなり、まさに介護保険制度の根幹を揺るがす問題です。

介護に携わる人たちが誇りと自信を持って仕事ができるよう、また安心して暮らせるよう、政府においては、以下の点について特段の取り組みを行い、労働条件や福利厚生の上向上に全力を挙げるよう強く要請します。

- 1 全労働者の平均を大きく下回っている給与水準の実態を職種や勤務形態ごとに把握し、低賃金の原因とその是正策を早急に検討すること。それぞれの介護事業者がキャリアと能力に見合った適切な給与体系が構築できるよう介護事業者のあり方を見直し、次期介護報酬改定で適切に措置すること。
- 2 昨年8月示された福祉人材確保指針について、福祉・介護サービスを担う人材確保のため、労働環境の整備やキャリアアップの仕組みの構築など、早急な取り組みを進め、福祉・介護現場における指針の実現を図ること。
- 3 小規模事業者などにおける雇用主の確保、労働者の待遇改善、労働時間短縮のための事務負担軽減策、さらには、事業所の労働条件等労働環境に関する情報開示など介護労働者の待遇改善のための総合的な取り組みを進めること。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年9月25日

鎌倉市議会

【採択した陳情】
◆武田薬品工業(株)新研究所計画についての陳情
本陳情は、神奈川県環境影響評価条例に定める関係地域住民に対し、新研究所の事業計画などの説明及びバイオ災害対策についての住民とのコミュニケーションを徹底するよう武田薬品工業(株)に指導してほしいというものです。委員会は、県のアセスの問題で、市は事業者に指導する立場ではないが、市長が県知事あてに詳細な意見書を提出しており、今後、県の対応を見きわめた上で判断すべきとのことから継続審査とする意見と、地域住民の不安や恐怖を払拭するためにも、市は、住民が要望する説明にこたえるよう武田薬品工業(株)に働きかけることが必要であることから結論を出すとする異なる意見に分かれましたが、採決

陳情の議決結果

7件を採択、2件を不採択

を行った結果、多数により採択し、本会議でも、多数の賛成により採択しました。

◆携帯電話・P・H・S中継基地局の設置に関する条例の制定を求めることについての陳情
本陳情は、市民が健康で安全かつ快適な生活を送れるよう、中継基地局設置・改造を行う事業者は、基地局が発する電波の影響が及ぶ範囲の住民に対する説明会を開催し、事業計画が住民の合意と理解のもとに進められるよう義務付ける条例を制定するとともに、市民が基地局の設置状況についての情報にアクセスできるようにしてほしいという意見です。

委員会では、国が、電磁波による人体に及ぼす影響の因果関係を早急に究明することが必要であるが、全国的な取り組みに先駆け、本市が取り組むことは意味があり、また

委員会では、国の実施計画にも載っていないビビオ保育園の早急な認可に向けて、尽力してほしいというものです。委員会では、保育園の全面的な見地からの配置や、用地確保と建設に向けての方針など、課題を整理する必要があることから継続審査とする意見と、市は実施計画に載せた以上、責任を持って早急に土地探しに入るべきであることから結論を出すとする異なる意見に分かれましたが、採決

を行った結果、全会一致で採決し、本会議でも、総決意を強く求めることに関する意見書

委員会では、国の実施計画にも載っていないビビオ保育園の早急な認可に向けて、尽力してほしいというものです。委員会では、保育園の全面的な見地からの配置や、用地確保と建設に向けての方針など、課題を整理する必要があることから継続審査とする意見と、市は実施計画に載せた以上、責任を持って早急に土地探しに入るべきであることから結論を出すとする異なる意見に分かれましたが、採決

を行った結果、全会一致で採決し、本会議でも、総決意を強く求めることに関する意見書

質問：未就学の障害児通園施設であるおそら園でのきめ細かい対応を終え、小学校に入学すると、保護者は質問：発達障害などの児童が増え、教員は複雑な対応が必要とされている。特別支援教育巡回相談員の増員や、支援運営の支援を行う学級支援員の派遣増が必要だと考えるがどうか。

部長：特別支援教育巡回相談員数は増えており、学校の要請に対応できるよう増員を検討したい。学級支援員についても、各学校での取り組み

質問：発達障害などの児童が増え、教員は複雑な対応が必要とされている。特別支援教育巡回相談員の増員や、支援運営の支援を行う学級支援員の派遣増が必要だと考えるがどうか。

部長：特別支援教育巡回相談員数は増えており、学校の要請に対応できるよう増員を検討したい。学級支援員についても、各学校での取り組み

質問：発達障害などの児童が増え、教員は複雑な対応が必要とされている。特別支援教育巡回相談員の増員や、支援運営の支援を行う学級支援員の派遣増が必要だと考えるがどうか。

部長：特別支援教育巡回相談員数は増えており、学校の要請に対応できるよう増員を検討したい。学級支援員についても、各学校での取り組み

質問：発達障害などの児童が増え、教員は複雑な対応が必要とされている。特別支援教育巡回相談員の増員や、支援運営の支援を行う学級支援員の派遣増が必要だと考えるがどうか。

部長：特別支援教育巡回相談員数は増えており、学校の要請に対応できるよう増員を検討したい。学級支援員についても、各学校での取り組み

質問：発達障害などの児童が増え、教員は複雑な対応が必要とされている。特別支援教育巡回相談員の増員や、支援運営の支援を行う学級支援員の派遣増が必要だと考えるがどうか。

教育の諸課題について

相談場所が少なくなり、不安になると聞く。年に一回行われている学童児童療育相談の回数を増やせないか。

質問：発達障害などの児童が増え、教員は複雑な対応が必要とされている。特別支援教育巡回相談員の増員や、支援運営の支援を行う学級支援員の派遣増が必要だと考えるがどうか。

部長：特別支援教育巡回相談員数は増えており、学校の要請に対応できるよう増員を検討したい。学級支援員についても、各学校での取り組み

質問：発達障害などの児童が増え、教員は複雑な対応が必要とされている。特別支援教育巡回相談員の増員や、支援運営の支援を行う学級支援員の派遣増が必要だと考えるがどうか。

部長：特別支援教育巡回相談員数は増えており、学校の要請に対応できるよう増員を検討したい。学級支援員についても、各学校での取り組み

質問：発達障害などの児童が増え、教員は複雑な対応が必要とされている。特別支援教育巡回相談員の増員や、支援運営の支援を行う学級支援員の派遣増が必要だと考えるがどうか。

部長：特別支援教育巡回相談員数は増えており、学校の要請に対応できるよう増員を検討したい。学級支援員についても、各学校での取り組み

一般質問

9月定例会では11名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにたずねるもので、下の表のとおり質問を行いました。ここではその一部を掲載しました。

※本紙では、今議会で行われた質疑応答を、広報委員会が抜粋し、事項別に整理し掲載しています。個々の議員の発言等、詳しくは11月中旬作成予定の本案議録を図書館やインターネットでご覧ください。インターネットを利用の場合は「かまくら GreenNet」から鎌倉市議会ホームページを開き、会議録検索システムをクリックしてください。また鎌倉市議会ホームページの本会議中継システムから、録画映像も見られますのでご利用ください。

納所 千	輝次……………「保健医療福祉行政について」 一……………「信号の時間－歩行者のわたる信号の時間をもっと長く」 「鎌倉駅周辺のバリアフリー化の再検討を」「小川のところに敷居を」「国道、県道、鎌倉市道にかかわらず歩道と車道の高さをなくすよう」「社協のヘルパーの年末年始の対応について」「どのような認知症の方も受け入れ可能なショートステイ的なものを」
吉岡 和江……………	「健康で元気に地域でくらし続けるために」○介護保険との関連で○健康づくりについて
赤松 正博……………	「土地利用をめぐる諸問題について」「ワンルームマンションについて」
早稲田夕季……………	「世界遺産登録とまちづくり」○世界遺産登録について○まちづくり（広告物等の景観、公衆トイレの整備） 「大船のまちづくりについて」「職員公益通報について」
岡田 和則……………	「教育とスポーツ振興の諸問題について」
渡邊 隆一……………	「こみ行政の諸課題について」
高野 洋……………	「教育行政について」
久坂くにえ……………	「障害児・者福祉」○幼児期・学齢期・卒後の支援について「武田薬品工業（株）新研究所について」
三輪裕美子……………	「子どもを取り巻く環境整備」○学校給食について○熱中症対策○防災対策○電磁波問題
石川 寿美……………	

市民の健康のために

市民の健康問題について、さまざまな視点から次のような質問が行われました。
【女性の健康サポート】
質問：市内の医療機関では、女性専門外来の診療体制はどのようになっているか。
部長：今年の八月から湘南記念病院で乳がんの専門外来を開き、乳腺、甲状腺外来を開設した。平成二十一年四月にはその内容を充実させ、女性に特化した外来を開設する予定と聞いている。女性専門外来として開設するには、心理職等の多岐にわたる女性専門職が必要とされている。本市の医療機関の現状では、一病院、一診療所ですでだけ

のスタッフをそろえることは困難と考える。今後は医師会と市内医療機関にいる女性専門医を活用し、合など、鎌倉市独自の女性専門外来のあり方について鎌倉市医師会と協議していきたいと考える。

質問：例えば将来、保健医療福祉センターに、その女性専門外来を効果あるものとするための研究室を設置し、基盤となる性差医療の研究、教育システムを確立するとともに、データの集積、分析等のサポート体制を整備することも、保健医療福祉センター構想において可能ではないか。

質問：例えば将来、保健医療福祉センターに、その女性専門外来を効果あるものとするための研究室を設置し、基盤となる性差医療の研究、教育システムを確立するとともに、データの集積、分析等のサポート体制を整備することも、保健医療福祉センター構想において可能ではないか。

質問：例えば将来、保健医療福祉センターに、その女性専門外来を効果あるものとするための研究室を設置し、基盤となる性差医療の研究、教育システムを確立するとともに、データの集積、分析等のサポート体制を整備することも、保健医療福祉センター構想において可能ではないか。

質問：例えば将来、保健医療福祉センターに、その女性専門外来を効果あるものとするための研究室を設置し、基盤となる性差医療の研究、教育システムを確立するとともに、データの集積、分析等のサポート体制を整備することも、保健医療福祉センター構想において可能ではないか。

かまくら議会だより

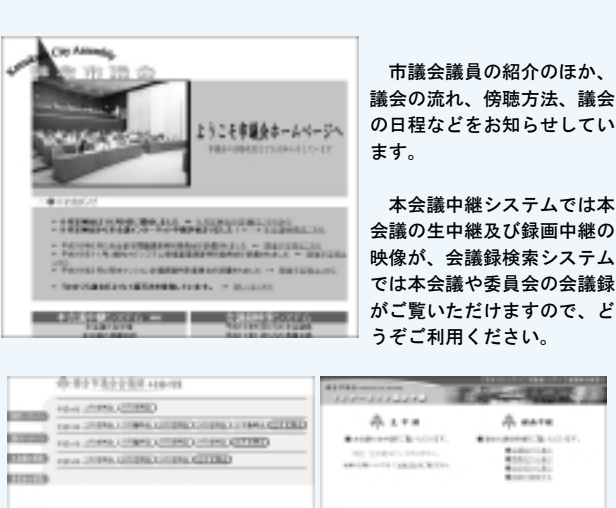
音声版・点訳版のご案内

鎌倉市点訳赤十字奉仕団の協力により、議会だよりの音声版(収録テープ)と点訳版を作成しています。ご利用希望の方は、お申し出ください。

お問い合わせ先
〒248-8686
鎌倉市御成町18番10号
議会事務局議事調査担当
電話：0467(23)3000 内線2448
FAX：0467(23)5825

市議会ホームページ

http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/index.htm



議会を傍聴してみませんか

本会議をはじめ、各委員会は公開されており、誰でも傍聴することができます。

本会議の傍聴
本会議当日に、市役所議会棟入口にある守衛室までおいでください。先着順に傍聴券を交付します。

常任委員会・特別委員会等の傍聴
委員会当日に、市役所2階の議会事務局で申し込みをしてください。なお、席に限りがありますので先着順になります。当日の審査内容や審査する順番は委員会の冒頭で確認された後、議会事務局前に掲示されます。

※詳しくは議会事務局まで、電話でお問い合わせください。
電話：0467(23)3000 内線2448

質問：今年度の夏休みには朝から三〇度を超える日が続いた。それでも部活動が行われていたが、きちんと対応したのか。

質問：今年度の夏休みには朝から三〇度を超える日が続いた。それでも部活動が行われていたが、きちんと対応したのか。

質問：今年度の夏休みには朝から三〇度を超える日が続いた。それでも部活動が行われていたが、きちんと対応したのか。

質問：今年度の夏休みには朝から三〇度を超える日が続いた。それでも部活動が行われていたが、きちんと対応したのか。

質問：今年度の夏休みには朝から三〇度を超える日が続いた。それでも部活動が行われていたが、きちんと対応したのか。

質問：今年度の夏休みには朝から三〇度を超える日が続いた。それでも部活動が行われていたが、きちんと対応したのか。